

第6回食品産業もったいない大賞 農林水産大臣賞

生ごみを宝に！

食資源循環による地球温暖化防止の推進を目指して



特定非営利活動法人 伊万里はちがめプラン

伊万里市の概要

伊万里市

佐賀県西部に位置する人口約5.5万人の市。
うち中心部の人口は約2万5千人。
江戸時代は陶磁器の積出港、明治以降は石炭の
積出港として栄えた。



近年では造船、IC関連産業、木材関連産業等の
集積により近代的な工業港として発展。

伊万里はちがめプランの活動

① 市民参加による生ごみ堆肥化



② 菜の花プロジェクト

③ 生ごみ堆肥による農産物の生産と販売

④ 環境教育と環境啓発活動



1992(平成4)年 生ごみ資源化研究会発足

◎1992(平成4)年

生ゴミを含む可燃ごみを税金で焼却するのは“もったいない”ことに気づいた伊万里料飲店・旅館組合のメンバーが中心となり、「生ごみ資源化研究会」を発足。調査・研究を始める。



伊万里牛レストラン「伊万里亭」
(伊万里はちがめプラン理事長 福田俊明)



うどん和食レストラン「とき里」
(伊万里はちがめプラン副理事長 時里重利)

生ごみを燃やすことによって発生する問題

伊万里市の
燃えるごみ
焼却量

約**35**トン
(1日あたり)
平成3年度

焼却コスト

1トンあたり34,000円 1年間で3億5千万円

焼却残灰

1年間 2,000トン

燃えるごみに含まれる生ごみの割合40%

生ごみの水分含有量80%

分別回収することにより20～30%の可燃ごみが削減可能

- 焼却に使っていた大量の化石燃料の節約につながる。
- CO2発生抑制により、地球温暖化防止になる。

市民を巻き込んだ活動に発展

◎1997(平成9)年

市民の参加、伊万里商工会議所の協力を得て、「生ごみ堆肥化実行委員会」結成。
愛称を「伊万里はちがめプラン」とした。

カブトガニを伊万里地方の方言で
「はちがめ」と呼ぶ。



◎微生物の培養実験



1997(平成9)年～1999(平成11)年
生ごみに対して活発に反応する醗酵
菌群の選別培養に成功。
種菌としての改良と培養を行なう。

2000(平成12)年1月 生ごみ堆肥化実験プラント完成

伊万里市が将来、生ごみ資源化を政策として実施することを想定し、本格的実用化実験を開始。2003(平成15)年 特定非営利活動法人の認定を受け、現在に至る。



敷地面積2,751㎡ 生ごみ収容能力:3トン/1日

現在、年間500トンの生ごみを回収し、250トンの良質な有機たい肥を生産

生ごみ堆肥化のプロセス

約100日をかけて生ごみを堆肥化

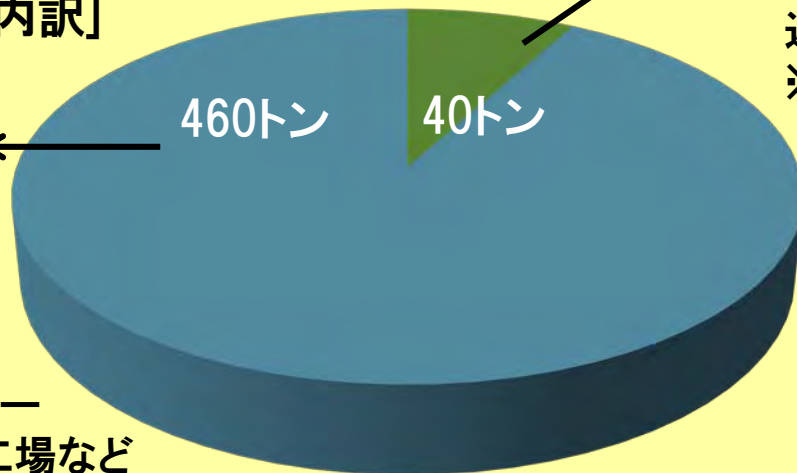
生ゴミ回収から初期醗酵・中期醗酵まで約40日、ふるいにかけ、約60日間熟成



市内の一般家庭の生ごみと事業系生ごみを回収

71事業所、生ごみステーション300世帯から
年間500トンの生ごみを回収

[内訳]



71事業所

- 飲食店
- スーパー
- 病院
- 保育園
- 給食センター
- 食品製造工場など

※生ごみを有償で回収

生ごみステーション

市内30ヶ所 300世帯
(1ステーションあたり5～15世帯)
週3回の回収便
※1世帯 年間6,000円の会費



伊万里はちがめプランの新たな展開

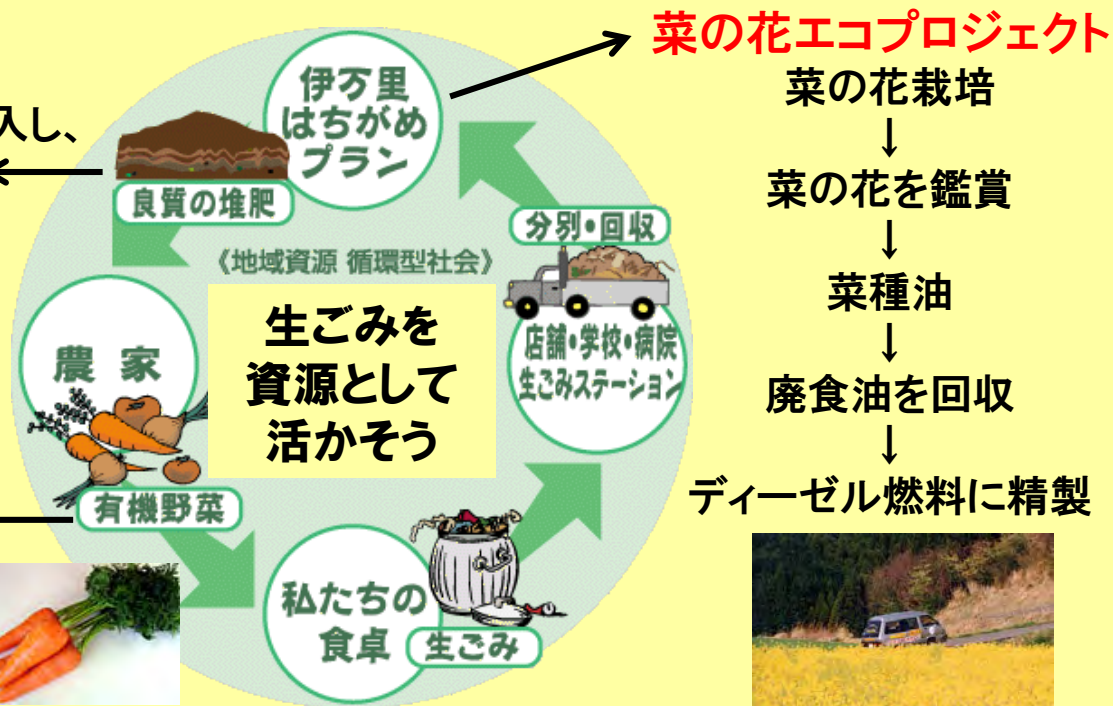
契約農家 40戸

生ごみ堆肥を有償で購入し、
有機栽培

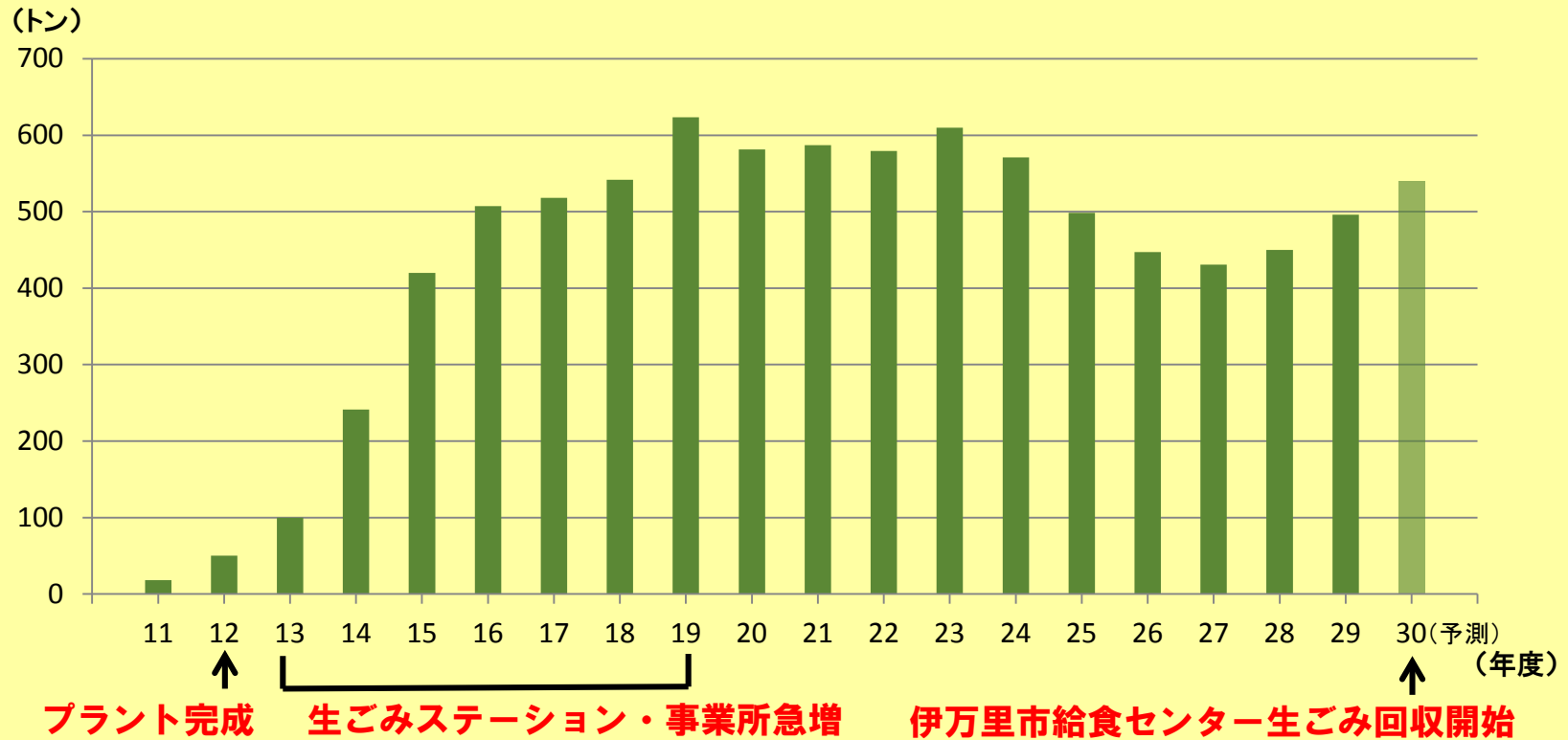


農産物直売所「風道」

契約農家で生産された
有機野菜を販売



生ごみ回収量の推移



生ごみ分別回収の成果

伊万里市の生ごみの15%にあたる年間500トン进行分別回収

1トンあたりのごみ焼却費 3万円

※2013(平成25)年度 伊万里市データ

伊万里はちがめプランで年間500トンの生ごみを回収していることから

焼却費 年間1,500万円の節約

通常、生ごみを収集運搬・焼却する場合 CO2排出量 1トンあたり2,051.3kg

これに、生ごみを堆肥化するために微生物が出すCO2排出量と伊万里はちがめプランで生ごみ堆肥化するための年間CO2排出量(電気代・ガソリン代・軽油代)を差し引きすると

CO2削減量 年間約1,000トン

※試算はNPO法人生ごみリサイクル全国ネットワーク

環境教育と環境啓発活動

市内4校の小学3～4年生、約300名の児童に、毎年環境教育を実施



このほかに、全国各地の視察、JICA紹介による外国からの研修生の受け入れ、環境フォーラムの開催など

子から親へ 親から地域へ
地域から地球へ そして次世代へ



伊万里はちがめプランを育てている伊万里の歴史と風土、豊かな自然。
この貴重な財産を、未来の子どもたちへそのまま手渡したい・・・